

Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

平成25年7月26日

各 位

上場会社名 株式会社フルスピード
(コード番号: 2159 東証マザーズ)
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
代表者 代表取締役社長 田中 伸明
問合せ先 管理本部副本部長 栗田 洋
電話番号 03-5728-4460 (代表)
(URL <http://www.fullspeed.co.jp/>)

(訂正)「平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年7月11日に開示いたしました「親会社フリービット株式会社に係る特別調査委員会の調査報告書受領、当社による調査内容及び当社の各期連結財務諸表に与える影響の概要並びに今後の対応について」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成24年3月9日付「平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年3月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルスピード

コード番号 2159 URL <http://www.fullspeed.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 伸明

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 保坂 健志 TEL 03-5728-4460

四半期報告書提出予定日 平成24年3月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第2四半期の連結業績（平成23年8月1日～平成24年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	6,553	△24.7	306	-	260	-	81	-
23年7月期第2四半期	8,703	40.9	△80	-	△111	-	△332	-

(注) 包括利益 24年4月期第2四半期 68百万円 (-%) 23年7月期第2四半期 △339百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年4月期第2四半期	円 銭 552.48	円 銭 551.98
23年7月期第2四半期	△2,318.24	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第2四半期	4,393	80	1.3
23年7月期	4,733	11	△0.3

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 58百万円 23年7月期 △14百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
24年4月期	-	0.00	-	-	-
24年4月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想（平成23年8月1日～平成24年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	-	420	-	360	-	200	-	1,359.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社（社名）、 除外 1社（社名）株式会社 J P S

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年4月期2Q	147,100株	23年7月期	147,100株
24年4月期2Q	一株	23年7月期	一株
24年4月期2Q	147,100株	23年7月期2Q	143,567株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高や欧州債務危機を発端とした世界経済の減速による影響等により、依然として先行きが不透明な展開となりました。一方、当社グループの事業領域であるインターネット広告市場は平成23年には8,062億円（前年比4.1%増）の市場（『2011年（平成23年）日本の広告費』・株式会社電通、平成24年2月公表）となり、東日本大震災の影響により市場が一部停滞したものの、ネット広告の媒体費は2010年に続き堅調に推移しております。特に、スマートフォン向け広告は337億円（そのうち検索連動広告は208億円）と急増するユーザー数や注目の高まりに応じて急激に増加しているとされ、今後も引き続き市場が拡大していくことが見込まれます。

このような事業環境のなか、当社グループはコア事業であるインターネットマーケティング支援の各種サービスの提供に注力してまいりました。グループ全体で積極的な事業活動に努めた結果、ノンコア事業が含まれていた前年同期と比較すると24.4%の減収となったものの、コア事業に経営リソースをすべて投下できるようになったことで、当第2四半期連結累計期間においてもコア事業による収益力が回復基調で推移し、引き続きグループ全体で営業黒字を確保することができました。

また、当第2四半期連結累計期間には、投資有価証券評価損48,787千円、固定資産除却損24,627千円等の特別損失を計上したものの81,270千円の四半期純利益を計上することができました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,553,150千円（前年同期比24.7%減）、営業利益306,448千円（前年同四半期は営業損失80,825千円）、経常利益260,459千円（前年同四半期は経常損失111,404千円）、四半期純利益81,270千円（前年同四半期は四半期純損失332,822千円）となりました。

セグメント別の営業概況は次のとおりです。

<インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業>

当第2四半期連結累計期間において、SEO(*1)やリスティング広告(*2)、アフィリエイト広告(*3)などのインターネットマーケティング関連の各種サービスの品質向上に向けた取り組みや、顧客単価の向上に努めたこと等が奏功し、SEO、リスティング広告などの主力サービスの売上高は前年同期と比較して増加する結果となりました。また、中小企業を対象としたインターネットマーケティングの総合支援プラットフォーム「フルスピードクラブ」会員の売上高が連結売上高の8.1%となりました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は4,292,252千円（前年同期比8.1%増）となりました。

<アフィリエイトサービスプロバイダー事業>

当事業は株式会社フォーイトが運営するアフィリエイトサービスプロバイダー(*4)事業を対象としておりません。

自社開発したアフィリエイトプログラム「アフィリエイトB」および「アフィリエイトBモバイル」の営業活動に注力した結果、当事業におけるプロモーション数・提携サイト数ともに順調に増加いたしました。また、新たな業界の顧客開拓に継続して注力するほか、株式会社フォーイトが提供するfacebook用販売促進ツール「Apps-B」等の新たなサービスの拡充を図るなど積極的な取り組みに努めてまいりました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は1,637,487千円（前年同期比42.3%増）となりました。

<インターネットメディア事業>

当事業は、Webサイト運営・販売およびEC(*5)が属しております。

当第2四半期連結累計期間において販売したWebサイトはありません。また、ECにつきましては、当社による自社ECサイトの運営に加えて、株式会社ベッコアメ・インターネットによる自社ECサイトの運営およびモバイルECサイトの運営受託サービスに取り組んでまいりました。当社が運営するEC事業の売上高は減少傾向である一方、株式会社ベッコアメ・インターネットにおいては、ゲーム機器や玩具、アパレルなどの一般消費者向けのECサイトの販売が、年末年始の商戦の影響や取扱いサイト数の増加等により好調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は846,331千円（前年同期比51.3%増）となりました。

<データセンター事業>

当事業は株式会社ベッコアメ・インターネットが行うデータセンター事業が対象となっております。新たな需要開拓に努める一方、データセンターの増設や仮想化サービス等の現在の環境や顧客ニーズに則したサービスの充実を図る等の積極的な施策が奏功したことにより、引き続き受注は順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は417,891千円（前年同期比6.1%増）となりました。

<その他事業>

当事業には、株式会社ベッコアメ・インターネットが提供しているCATV/ISP向け専用線サービス等の事業が含まれております。

当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は194,357千円となりました。

- *1 SEO(Search Engine Optimization) : 検索エンジン最適化。顧客のWebサイトが検索エンジンからの評価を高められるようにサイトやリンク構造を最適化する技術。
- *2 リスティング広告 : 検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果のページに設定された広告枠に表示されるテキスト広告。
- *3 アフィリエイト広告 : Webサイトやブログ等が企業サイトへバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がその広告を経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。
- *4 アフィリエイトサービスプロバイダー : 広告主とリンク元となるサイト運営者を仲介する業者。
- *5 EC(Electronic Commerce) : 電子商取引。インターネット等コンピュータネットワーク上で、電子的な情報交換により商品やサービスを分配・売買すること。

(当連結累計年度における事業区分別販売実績)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)		
	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比(%)
インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業	4,292,252	<u>65.5</u>	108.1
フルスピードクラブ	538,150	<u>8.2</u>	109.9
SEO	212,322	3.2	93.0
リスティング広告	2,400,672	<u>36.6</u>	114.3
アフィリエイト広告	883,264	<u>13.5</u>	96.8
その他広告	173,519	2.6	124.5
その他	84,322	1.3	85.6
アフィリエイトサービスプロバイダー事業	1,637,487	24.7	142.3
インターネットメディア事業	<u>846,331</u>	<u>12.9</u>	151.3
Webサイト運営・販売	10,619	0.2	38.4
EC	835,712	<u>12.8</u>	157.2
データセンター事業	<u>417,891</u>	6.4	<u>106.1</u>
報告セグメント計	<u>7,193,962</u>	—	118.4
その他	<u>194,357</u>	<u>3.0</u>	<u>60.5</u>
消去	△835,169	<u>△12.7</u>	98.1
合計	6,553,150	100.0	<u>75.3</u>

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

(資産)

流動資産は3,201,644千円となり、前連結会計年度末に比べて5,165千円増加しました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

固定資産は1,191,745千円となり、前連結会計年度末に比べて345,069千円減少しました。これは、主にのれんの償却と賃貸契約変更、解約に伴う差入保証金の減少によるものであります。

(負債)

流動負債は3,099,986千円となり、前連結会計年度末に比べて36,809千円減少しました。これは、主に未払法人税等の減少と、未払金の減少によるものであります。

固定負債は1,213,090千円となり、前連結会計年度末に比べて371,853千円減少しました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は80,313千円となり、前連結会計年度末に比べて68,759千円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期（平成24年4月期）につきましては、SEO、リスティング広告、アフィリエイト広告等のインターネットマーケティング関連の事業展開に経営資源を集中し強化に努めると共に、親会社であるフリービットグループの技術支援を受け協働で将来に向けた新事業の企画、開発にも取り組んでまいります。

また財務面については、継続して営業利益を創出できるまでに回復したことから、着実に利益を積み上げることで財務体質の改善・強化に取り組んでまいります。

具体的には、以下のとおりの施策に注力してまいります。

- ① ナショナルクライアントの開拓に向けた営業・サービス体制の確立
- ② 地方都市における地域ドミナントOEM展開による低価格ゾーンを開拓
- ③ 圧倒的な技術力の差別化による提供サービスの向上
- ④ 高付加価値サービスの開発に向けた自社システム開発体制の確立

引き続き、これら4つの施策を積極的に推進することで、収益力の強化および財務体質の改善・強化に努めてまいります。

平成24年4月期通期の連結業績予想（9ヵ月決算）につきましては、平成24年3月9日付で「平成24年4月期第2四半期累計期間連結業績予想との差異および平成24年4月期通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社の主力事業であるSEO、リスティング広告、アフィリエイト広告等のインターネットマーケティングの既存サービスにおいて、サービスの品質向上の各種施策に取り組んだことにより業務効率が向上したことや、徹底したコスト管理に努めたこと等が奏功し、利益面において、さらに改善傾向が顕著となり、計画を上回り推移いたしました。

そのため、平成23年10月27日付で公表いたしました通期の連結業績予想につきましても、現状の動向を踏まえ、上方修正いたしました。

(注) 決算期変更に伴う通期業績予想の修正について

平成23年10月27日開催の定時株主総会において、「定款の一部変更の件」が承認されたことに伴い、当社の事業年度は毎年5月1日から翌年4月30日までとなりました。

これに伴い、決算期変更の経過期間となる当期（平成24年4月期）は、平成23年8月1日から平成24年4月30日までの9ヵ月間の変則決算となるため、平成23年10月27日付で当期の通期連結業績予想の修正を公表いたしました。なお、現在の通期の連結業績予想（9ヵ月決算）は、期初公表の予想（12ヵ月決算）の8月1日から翌年4月30日までの9ヵ月間を集計したものであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
株式会社JPSは保有株式の売却に伴い、当第2四半期連結会計期間末において連結範囲から除外しております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度におけるノンコア事業の売却に伴い、純資産が大幅に減少いたしました。当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消すべく、引き続き次の施策を実施してまいります。

前連結会計年度のノンコア事業の売却により、当社グループは、インターネットマーケティング関連のコア事業の展開に経営資源を集中しております。現在、当社グループのコア事業の業績は黒字を継続しており、回復基調で推移しております。今後も、引き続き、定評のあるSEO、リスティング広告、アフィリエイト広告などを中心に、インターネットマーケティングの各種サービスの提供に注力することで、当社グループとして早期の業績回復を実現するとともに、さらには、安定した収益基盤と強固な財務基盤の構築に努めてまいります。

また資金面でも、親会社であるフリービット株式会社との連携強化の一環として、親会社が実施しているグループファイナンスを通じて、当社は資金需要に応じて親会社から必要資金を柔軟かつ機動的に調達できる体制を構築しております。従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,516,777	1,330,472
受取手形及び売掛金	<u>1,367,583</u>	<u>1,642,452</u>
商品	<u>78,662</u>	80,689
未収入金	<u>46,367</u>	<u>10,405</u>
前払費用	<u>55,549</u>	<u>44,853</u>
繰延税金資産	<u>17,635</u>	<u>10,522</u>
その他	<u>162,355</u>	<u>136,349</u>
貸倒引当金	△48,452	<u>△54,101</u>
流動資産合計	<u>3,196,479</u>	<u>3,201,644</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	<u>340,079</u>	<u>347,029</u>
減価償却累計額	<u>△118,530</u>	<u>△134,021</u>
建物(純額)	<u>221,549</u>	<u>213,008</u>
工具、器具及び備品	<u>932,372</u>	<u>777,547</u>
減価償却累計額	<u>△772,349</u>	<u>△668,263</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>160,023</u>	<u>109,283</u>
土地	172,241	172,241
リース資産	23,525	41,480
減価償却累計額	△13,802	△18,290
リース資産(純額)	9,722	23,190
建設仮勘定	—	47,250
その他	2,452	1,582
減価償却累計額	<u>△1,934</u>	<u>△1,172</u>
その他(純額)	<u>518</u>	<u>410</u>
有形固定資産合計	<u>564,055</u>	<u>565,384</u>
無形固定資産		
ソフトウェア	46,940	40,223
のれん	<u>256,081</u>	<u>116,948</u>
その他	52	8,872
無形固定資産合計	<u>303,073</u>	<u>166,043</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	220,619	152,220
長期貸付金	152,220	128,220
破産更生債権等	355,398	358,388
繰延税金資産	7,183	970
差入保証金	250,848	180,807
その他	<u>121,738</u>	<u>61,829</u>
貸倒引当金	<u>△438,323</u>	<u>△422,120</u>
投資その他の資産合計	<u>669,685</u>	<u>460,317</u>
固定資産合計	<u>1,536,814</u>	<u>1,191,745</u>
資産合計	<u>4,733,293</u>	<u>4,393,390</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,014,580	1,000,218
短期借入金	※1 1,010,498	※1 1,177,000
1年内返済予定の長期借入金	663,527	571,754
リース債務	4,075	6,340
未払金	137,177	119,022
未払法人税等	108,720	69,866
未払消費税等	69,086	60,116
賞与引当金	23,500	16,718
その他	105,629	78,949
流動負債合計	<u>3,136,795</u>	<u>3,099,986</u>
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,373,650	1,039,503
リース債務	5,646	16,850
繰延税金負債	23,740	15,278
その他	81,906	41,459
固定負債合計	<u>1,584,944</u>	<u>1,213,090</u>
負債合計	<u>4,721,739</u>	<u>4,313,077</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	746,611	746,611
資本剰余金	717,611	717,611
利益剰余金	△1,490,990	△1,409,720
株主資本合計	<u>△26,768</u>	<u>54,501</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,455	3,554
その他の包括利益累計額合計	12,455	3,554
少数株主持分	25,866	22,257
純資産合計	<u>11,554</u>	<u>80,313</u>
負債純資産合計	<u>4,733,293</u>	<u>4,393,390</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
売上高	8,703,880	6,553,150
売上原価	6,012,563	5,113,027
売上総利益	2,691,316	1,440,123
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	721,538	403,305
地代家賃	429,106	77,318
減価償却費	67,380	25,469
のれん償却額	290,090	68,612
貸倒引当金繰入額	87,411	11,053
賞与引当金繰入額	8,993	12,666
その他	1,167,620	535,248
販売費及び一般管理費合計	2,772,141	1,133,675
営業利益又は営業損失(△)	△80,825	306,448
営業外収益		
受取利息	682	1,926
受取配当金	—	1,724
受取保証料	25,112	—
物品売却益	4,463	—
その他	6,899	1,025
営業外収益合計	37,157	4,676
営業外費用		
支払利息	39,048	28,204
支払手数料	8,942	5,532
貸倒引当金繰入額	19,166	14,762
その他	578	2,166
営業外費用合計	67,737	50,665
経常利益又は経常損失(△)	△111,404	260,459
特別利益		
前期損益修正益	112	—
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	112	10
特別損失		
固定資産除却損	14,214	24,627
減損損失	—	12,666
投資有価証券評価損	101,059	48,787
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,909	—
その他	14,953	11,858
特別損失合計	170,137	97,938
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△281,429	162,530
法人税、住民税及び事業税	44,711	76,193
法人税等調整額	28,092	8,677
法人税等合計	72,804	84,870
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△354,234	77,660
少数株主損失(△)	△21,411	△3,609
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△332,822	81,270

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	<u>△354,234</u>	<u>77,660</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,568	△8,901
その他の包括利益合計	<u>14,568</u>	<u>△8,901</u>
四半期包括利益	<u>△339,665</u>	<u>68,759</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△318,254</u>	<u>72,368</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△21,411	△3,609

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△281,429</u>	<u>162,530</u>
減価償却費	<u>125,942</u>	<u>66,025</u>
減損損失	<u>—</u>	<u>12,666</u>
固定資産除却損	<u>14,214</u>	<u>24,627</u>
投資有価証券売却損益(△は益)	<u>—</u>	<u>△10</u>
投資有価証券評価損益(△は益)	<u>101,059</u>	<u>48,787</u>
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額のれん償却額	<u>39,909</u>	<u>—</u>
貸倒引当金の増減額(△は減少)	<u>106,497</u>	<u>23,701</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	<u>1,621</u>	<u>△6,781</u>
受取利息及び受取配当金	<u>△682</u>	<u>△3,651</u>
支払利息	<u>39,048</u>	<u>28,204</u>
売上債権の増減額(△は増加)	<u>△214,775</u>	<u>△307,870</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	<u>△1,335</u>	<u>△3,158</u>
前払費用の増減額(△は増加)	<u>28,540</u>	<u>△3,994</u>
前渡金の増減額(△は増加)	<u>42,144</u>	<u>28,700</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	<u>△175,075</u>	<u>33,664</u>
未払債務の増減額(△は減少)	<u>△80,474</u>	<u>△56,443</u>
未払消費税等の増減額(△は減少)	<u>50,248</u>	<u>△7,984</u>
その他	<u>△22,284</u>	<u>7,700</u>
小計	<u>63,260</u>	<u>115,325</u>
利息及び配当金の受取額	<u>682</u>	<u>3,660</u>
利息の支払額	<u>△42,579</u>	<u>△27,616</u>
法人税等の支払額	<u>△133,981</u>	<u>△94,624</u>
法人税等の還付額	<u>50,944</u>	<u>23,626</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△61,674</u>	<u>20,370</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	<u>△39,259</u>	<u>△65,999</u>
無形固定資産の取得による支出	<u>△5,307</u>	<u>△12,212</u>
投資有価証券の売却による収入	<u>—</u>	<u>1,210</u>
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	<u>—</u>	<u>26,386</u>
貸付金の回収による収入	<u>833</u>	<u>12,075</u>
差入保証金の差入による支出	<u>△14,653</u>	<u>△1,768</u>
差入保証金の回収による収入	<u>170,539</u>	<u>34,519</u>
その他	<u>62,246</u>	<u>△14,551</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>174,398</u>	<u>△20,339</u>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	120,245	166,502
長期借入れによる収入	490,000	—
長期借入金の返済による支出	△513,516	△356,484
株式の発行による収入	628	—
配当金の支払額	△158	△88
その他	△55,368	△22,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,830	△212,943
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	154,554	△212,912
現金及び現金同等物の期首残高	1,390,655	1,500,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,545,210	※1 1,287,448

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年8月1日 至平成23年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	インターネット マーケティング を中心とした 法人支援事業 (千円)	アフィリエイト サービスプロバ イダー事業 (千円)	インターネット メディア事業 (千円)	データセンタ ー事業 (千円)	アパレル 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	3,965,807	316,417	<u>555,779</u>	<u>383,450</u>	3,161,399	<u>8,382,855</u>	<u>321,024</u>	<u>8,703,880</u>
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,225	834,661	3,442	10,264	—	851,592	—	851,592
計	3,969,033	1,151,079	<u>559,221</u>	<u>393,714</u>	3,161,399	<u>9,234,448</u>	<u>321,024</u>	<u>9,555,472</u>
セグメント利益 又は損失(△)	292,802	87,511	<u>20,734</u>	<u>41,183</u>	△282,452	<u>159,779</u>	<u>△20,825</u>	<u>138,953</u>

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CATV/ISP向け専用線サービス等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	<u>159,779</u>
「その他」の区分利益	<u>△20,825</u>
セグメント間取引消去	△6,174
全社費用（注）	213,604
四半期連結損益計算書の営業損失	△80,825

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年8月1日 至平成24年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	インターネット マーケティング を中心とした 法人支援事業 (千円)	アフィリエイト サービスプロバ イダー事業 (千円)	インターネット メディア事業 (千円)	データセンタ ー事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,291,052	815,397	<u>845,022</u>	<u>407,320</u>	<u>6,358,793</u>	<u>194,357</u>	<u>6,553,150</u>
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,200	822,089	1,309	10,570	835,169	—	835,169
計	4,292,252	1,637,487	<u>846,331</u>	<u>417,891</u>	<u>7,193,962</u>	<u>194,357</u>	<u>7,388,320</u>
セグメント利益 又は損失(△)	316,670	156,133	<u>△5,487</u>	<u>36,470</u>	<u>503,788</u>	<u>△13,350</u>	<u>490,437</u>

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CATV/ISP向け専用線サービス等を含んでおります。

前連結会計年度において、株式会社リアム（旧ギルドコーポレーション株式会社）を連結の範囲から除いたため、報告セグメントから「アパレル事業」を除外しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	<u>503,788</u>
「その他」の区分利益	<u>△13,350</u>
セグメント間取引消去	517
全社費用（注）	184,506
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>306,448</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(訂正前)



平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルスピード

コード番号 2159 URL <http://www.fullspeed.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 申明

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 保坂 健志 TEL 03-5728-4460

四半期報告書提出予定日 平成24年3月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第2四半期の連結業績(平成23年8月1日~平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	6,634	△24.4	336	-	299	-	126	-
23年7月期第2四半期	8,779	40.2	△74	-	△104	-	△326	-

(注) 包括利益 24年4月期第2四半期 114百万円 (-%) 23年7月期第2四半期 △333百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年4月期第2四半期	円 銭 860.95	円 銭 860.16
23年7月期第2四半期	△2,272.14	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第2四半期	4,574	214	4.2
23年7月期	4,848	100	1.5

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 192百万円 23年7月期 74百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
24年4月期	-	0.00	-	-	-
24年4月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年8月1日~平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	-	420	-	360	-	200	-	1,359.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社（社名）、 除外 1社（社名）株式会社 J P S

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年4月期2Q	147,100株	23年7月期	147,100株
24年4月期2Q	一株	23年7月期	一株
24年4月期2Q	147,100株	23年7月期2Q	143,567株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高や欧州債務危機を発端とした世界経済の減速による影響等により、依然として先行きが不透明な展開となりました。一方、当社グループの事業領域であるインターネット広告市場は平成23年には8,062億円（前年比4.1%増）の市場（『2011年（平成23年）日本の広告費』・株式会社電通、平成24年2月公表）となり、東日本大震災の影響により市場が一部停滞したものの、ネット広告の媒体費は2010年に続き堅調に推移しております。特に、スマートフォン向け広告は337億円（そのうち検索連動広告は208億円）と急増するユーザー数や注目の高まりに応じて急激に増加しているとされ、今後も引き続き市場が拡大していくことが見込まれます。

このような事業環境のなか、当社グループはコア事業であるインターネットマーケティング支援の各種サービスの提供に注力してまいりました。グループ全体で積極的な事業活動に努めた結果、ノンコア事業が含まれていた前年同期と比較すると24.4%の減収となったものの、コア事業に経営リソースをすべて投下できるようになったことで、当第2四半期連結累計期間においてもコア事業による収益力が回復基調で推移し、引き続きグループ全体で営業黒字を確保することができました。

また、当第2四半期連結累計期間には、投資有価証券評価損48,787千円、固定資産除却損37,293千円等の特別損失を計上したものの126,645千円の四半期純利益を計上することができました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,634,342千円（前年同期比24.4%減）、営業利益336,677千円（前年同四半期は営業損失74,207千円）、経常利益299,910千円（前年同四半期は経常損失104,786千円）、四半期純利益126,645千円（前年同四半期は四半期純損失326,204千円）となりました。

セグメント別の営業概況は次のとおりです。

<インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業>

当第2四半期連結累計期間において、SEO(*1)やリスティング広告(*2)、アフィリエイト広告(*3)などのインターネットマーケティング関連の各種サービスの品質向上に向けた取り組みや、顧客単価の向上に努めたこと等が奏功し、SEO、リスティング広告などの主力サービスの売上高は前年同期と比較して増加する結果となりました。また、中小企業を対象としたインターネットマーケティングの総合支援プラットフォーム「フルスピードクラブ」会員の売上高が連結売上高の8.1%となりました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は4,292,252千円（前年同期比8.1%増）となりました。

<アフィリエイトサービスプロバイダー事業>

当事業は株式会社フォーイトが運営するアフィリエイトサービスプロバイダー(*4)事業を対象としておりません。

自社開発したアフィリエイトプログラム「アフィリエイトB」および「アフィリエイトBモバイル」の営業活動に注力した結果、当事業におけるプロモーション数・提携サイト数ともに順調に増加いたしました。また、新たな業界の顧客開拓に継続して注力するほか、株式会社フォーイトが提供するfacebook用販売促進ツール「Apps-B」等の新たなサービスの拡充を図るなど積極的な取り組みに努めてまいりました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は1,637,487千円（前年同期比42.3%増）となりました。

<インターネットメディア事業>

当事業は、Webサイト運営・販売およびEC(*5)が属しております。

当第2四半期連結累計期間において販売したWebサイトはありません。また、ECにつきましては、当社による自社ECサイトの運営に加えて、株式会社ベッコアメ・インターネットによる自社ECサイトの運営およびモバイルECサイトの運営受託サービスに取り組んでまいりました。当社が運営するEC事業の売上高は減少傾向である一方、株式会社ベッコアメ・インターネットにおいては、ゲーム機器や玩具、アパレルなどの一般消費者向けのECサイトの販売が、年末年始の商戦の影響や取扱いサイト数の増加等により好調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は911,578千円（前年同期比47.0%増）となりました。

<データセンター事業>

当事業は株式会社ベッコアム・インターネットが行うデータセンター事業が対象となっております。新たな需要開拓に努める一方、データセンターの増設や仮想化サービス等の現在の環境や顧客ニーズに則したサービスの充実を図る等の積極的な施策が奏功したことにより、引き続き受注は順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は421,591千円（前年同期比6.5%増）となりました。

<その他事業>

当事業には、株式会社ベッコアム・インターネットが提供しているCATV/ISP向け専用線サービス等の事業が含まれております。

当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は206,602千円となりました。

- *1 SEO(Search Engine Optimization) : 検索エンジン最適化。顧客のWebサイトが検索エンジンからの評価を高められるようにサイトやリンク構造を最適化する技術。
- *2 リスティング広告 : 検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果のページに設定された広告枠に表示されるテキスト広告。
- *3 アフィリエイト広告 : Webサイトやブログ等が企業サイトへバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がその広告を経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。
- *4 アフィリエイトサービスプロバイダー : 広告主とリンク元となるサイト運営者を仲介する業者。
- *5 EC(Electronic Commerce) : 電子商取引。インターネット等コンピュータネットワーク上で、電子的な情報交換により商品やサービスを分配・売買すること。

(当連結累計年度における事業区分別販売実績)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)		
	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比(%)
インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業	4,292,252	64.7	108.1
フルスピードクラブ	538,150	8.1	109.9
SEO	212,322	3.2	93.0
リスティング広告	2,400,672	36.2	114.3
アフィリエイト広告	883,264	13.3	96.8
その他広告	173,519	2.6	124.5
その他	84,322	1.3	85.6
アフィリエイトサービスプロバイダー事業	1,637,487	24.7	142.3
インターネットメディア事業	911,578	13.7	147.0
Webサイト運営・販売	10,619	0.1	38.4
EC	900,959	13.6	157.2
データセンター事業	421,591	6.4	106.1
報告セグメント計	7,262,909	—	118.4
その他	206,602	3.1	62.0
消去	△835,169	△12.6	98.1
合計	6,634,342	100.0	75.6

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

(資産)

流動資産は3,365,851千円となり、前連結会計年度末に比べて67,059千円増加しました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

固定資産は1,208,329千円となり、前連結会計年度末に比べて341,622千円減少しました。これは、主にのれんの償却と賃貸契約変更、解約に伴う差入保証金の減少によるものであります。

(負債)

流動負債は3,121,576千円となり、前連結会計年度末に比べて16,843千円減少しました。これは、主に未払法人税等の減少と、未払金の減少によるものであります。

固定負債は1,238,050千円となり、前連結会計年度末に比べて371,853千円減少しました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は214,553千円となり、前連結会計年度末に比べて114,134千円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期（平成24年4月期）につきましては、SEO、リスティング広告、アフィリエイト広告等のインターネットマーケティング関連の事業展開に経営資源を集中し強化に努めると共に、親会社であるフリービットグループの技術支援を受け協働で将来に向けた新事業の企画、開発にも取り組んでまいります。

また財務面については、継続して営業利益を創出できるまでに回復したことから、着実に利益を積み上げることで財務体質の改善・強化に取り組んでまいります。

具体的には、以下のとおりの施策に注力してまいります。

- ① ナショナルクライアントの開拓に向けた営業・サービス体制の確立
- ② 地方都市における地域ドミナントOEM展開による低価格ゾーンを開拓
- ③ 圧倒的な技術力の差別化による提供サービスの向上
- ④ 高付加価値サービスの開発に向けた自社システム開発体制の確立

引き続き、これら4つの施策を積極的に推進することで、収益力の強化および財務体質の改善・強化に努めてまいります。

平成24年4月期通期の連結業績予想（9ヵ月決算）につきましては、平成24年3月9日付で「平成24年4月期第2四半期累計期間連結業績予想との差異および平成24年4月期通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社の主力事業であるSEO、リスティング広告、アフィリエイト広告等のインターネットマーケティングの既存サービスにおいて、サービスの品質向上の各種施策に取り組んだことにより業務効率が向上したことや、徹底したコスト管理に努めたこと等が奏功し、利益面において、さらに改善傾向が顕著となり、計画を上回り推移いたしました。

そのため、平成23年10月27日付で公表いたしました通期の連結業績予想につきましても、現状の動向を踏まえ、上方修正いたしました。

(注) 決算期変更に伴う通期業績予想の修正について

平成23年10月27日開催の定時株主総会において、「定款の一部変更の件」が承認されたことに伴い、当社の事業年度は毎年5月1日から翌年4月30日までとなりました。

これに伴い、決算期変更の経過期間となる当期（平成24年4月期）は、平成23年8月1日から平成24年4月30日までの9ヵ月間の変則決算となるため、平成23年10月27日付で当期の通期連結業績予想の修正を公表いたしました。なお、現在の通期の連結業績予想（9ヵ月決算）は、期初公表の予想（12ヵ月決算）の8月1日から翌年4月30日までの9ヵ月間を集計したものであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
株式会社JPSは保有株式の売却に伴い、当第2四半期連結会計期間末において連結範囲から除外しております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度におけるノンコア事業の売却に伴い、純資産が大幅に減少いたしました。当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消すべく、引き続き次の施策を実施してまいります。

前連結会計年度のノンコア事業の売却により、当社グループは、インターネットマーケティング関連のコア事業の展開に経営資源を集中しております。現在、当社グループのコア事業の業績は黒字を継続しており、回復基調で推移しております。今後も、引き続き、定評のあるSEO、リスティング広告、アフィリエイト広告などを中心に、インターネットマーケティングの各種サービスの提供に注力することで、当社グループとして早期の業績回復を実現するとともに、さらには、安定した収益基盤と強固な財務基盤の構築に努めてまいります。

また資金面でも、親会社であるフリービット株式会社との連携強化の一環として、親会社が実施しているグループファイナンスを通じて、当社は資金需要に応じて親会社から必要資金を柔軟かつ機動的に調達できる体制を構築しております。従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,516,777	1,330,472
受取手形及び売掛金	<u>1,442,391</u>	<u>1,750,440</u>
商品	<u>82,478</u>	80,689
未収入金	<u>43,304</u>	<u>4,049</u>
前払費用	<u>56,084</u>	<u>45,389</u>
繰延税金資産	<u>56,043</u>	<u>48,930</u>
その他	<u>150,163</u>	<u>153,103</u>
貸倒引当金	△48,452	<u>△47,223</u>
流動資産合計	<u>3,298,791</u>	<u>3,365,851</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	<u>351,609</u>	<u>358,559</u>
減価償却累計額	<u>△121,476</u>	<u>△137,684</u>
建物(純額)	<u>230,132</u>	<u>220,875</u>
工具、器具及び備品	<u>1,073,873</u>	<u>919,047</u>
減価償却累計額	<u>△868,499</u>	<u>△771,549</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>205,374</u>	<u>147,498</u>
土地	172,241	172,241
リース資産	23,525	41,480
減価償却累計額	△13,802	△18,290
リース資産(純額)	9,722	23,190
建設仮勘定	—	47,250
その他	2,452	1,582
減価償却累計額	<u>△2,047</u>	<u>△1,261</u>
その他(純額)	<u>405</u>	<u>320</u>
有形固定資産合計	<u>617,876</u>	<u>611,376</u>
無形固定資産		
ソフトウェア	46,940	40,223
のれん	<u>211,429</u>	<u>87,540</u>
その他	52	8,872
無形固定資産合計	<u>258,421</u>	<u>136,635</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	220,619	152,220
長期貸付金	152,220	128,220
破産更生債権等	355,398	358,388
繰延税金資産	7,183	970
差入保証金	250,848	180,807
その他	<u>76,738</u>	<u>4,922</u>
貸倒引当金	<u>△389,354</u>	△365,213
投資その他の資産合計	673,654	460,317
固定資産合計	<u>1,549,952</u>	<u>1,208,329</u>
資産合計	<u>4,848,744</u>	<u>4,574,180</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,042,880	1,053,614
短期借入金	1,010,498	1,177,000
1年内返済予定の長期借入金	638,567	546,794
リース債務	4,075	6,340
未払金	137,687	119,532
未払法人税等	74,781	59,866
未払消費税等	66,861	57,890
賞与引当金	23,500	16,718
その他	139,567	83,819
流動負債合計	<u>3,138,420</u>	<u>3,121,576</u>
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,398,610	1,064,463
リース債務	5,646	16,850
繰延税金負債	23,740	15,278
その他	81,906	41,459
固定負債合計	<u>1,609,904</u>	<u>1,238,050</u>
負債合計	<u>4,748,324</u>	<u>4,359,627</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	746,611	746,611
資本剰余金	717,611	717,611
利益剰余金	△1,402,124	△1,275,479
株主資本合計	<u>62,097</u>	<u>188,742</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,455	3,554
その他の包括利益累計額合計	12,455	3,554
少数株主持分	25,866	22,257
純資産合計	<u>100,419</u>	<u>214,553</u>
負債純資産合計	<u>4,848,744</u>	<u>4,574,180</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
売上高	8,779,172	6,634,342
売上原価	6,097,903	5,185,108
売上総利益	2,681,269	1,449,234
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	705,871	403,305
地代家賃	429,106	77,318
減価償却費	67,675	25,824
のれん償却額	273,129	53,369
貸倒引当金繰入額	87,411	4,175
賞与引当金繰入額	8,993	12,666
その他	1,183,287	535,895
販売費及び一般管理費合計	2,755,476	1,112,556
営業利益又は営業損失(△)	△74,207	336,677
営業外収益		
受取利息	682	1,926
受取配当金	—	1,724
受取保証料	25,112	—
物品売却益	4,463	—
その他	6,905	1,025
営業外収益合計	37,163	4,676
営業外費用		
支払利息	39,048	28,204
支払手数料	8,942	5,532
貸倒引当金繰入額	19,166	6,824
その他	584	882
営業外費用合計	67,742	41,443
経常利益又は経常損失(△)	△104,786	299,910
特別利益		
前期損益修正益	112	—
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	112	10
特別損失		
固定資産除却損	14,214	37,293
投資有価証券評価損	101,059	48,787
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,909	—
その他	14,953	5,934
特別損失合計	170,137	92,014
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△274,811	207,906
法人税、住民税及び事業税	44,711	76,193
法人税等調整額	28,092	8,677
法人税等合計	72,804	84,870
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△347,616	123,035
少数株主損失(△)	△21,411	△3,609
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△326,204	126,645

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益	<u>△347,616</u>	<u>123,035</u>
調整前四半期純損失(△)		
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,568	△8,901
その他の包括利益合計	<u>14,568</u>	<u>△8,901</u>
四半期包括利益	<u>△333,047</u>	<u>114,134</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△311,635</u>	<u>117,743</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△21,411	△3,609

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△274,811</u>	<u>207,906</u>
減価償却費	<u>133,511</u>	<u>73,854</u>
固定資産除却損	<u>14,214</u>	<u>37,293</u>
投資有価証券売却損益(△は益)	<u>—</u>	<u>△10</u>
投資有価証券評価損益(△は益)	<u>101,059</u>	<u>48,787</u>
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額のれん償却額	<u>39,909</u>	<u>—</u>
貸倒引当金の増減額(△は減少)	<u>273,129</u>	<u>53,369</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	<u>106,497</u>	<u>8,885</u>
受取利息及び受取配当金	<u>1,621</u>	<u>△6,781</u>
支払利息	<u>△682</u>	<u>△3,651</u>
売上債権の増減額(△は増加)	<u>39,048</u>	<u>28,204</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	<u>△205,429</u>	<u>△341,050</u>
前払費用の増減額(△は増加)	<u>△1,335</u>	<u>656</u>
前渡金の増減額(△は増加)	<u>28,540</u>	<u>△3,994</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	<u>42,144</u>	<u>28,700</u>
未払債務の増減額(△は減少)	<u>△201,096</u>	<u>58,759</u>
未払消費税等の増減額(△は減少)	<u>△61,446</u>	<u>△61,573</u>
その他	<u>50,248</u>	<u>△7,984</u>
小計	<u>△18,646</u>	<u>△6,045</u>
利息及び配当金の受取額	<u>66,478</u>	<u>115,325</u>
利息の支払額	<u>682</u>	<u>3,660</u>
法人税等の支払額	<u>△42,579</u>	<u>△27,616</u>
法人税等の還付額	<u>△133,981</u>	<u>△94,624</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>50,944</u>	<u>23,626</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△58,456</u>	<u>20,370</u>
有形固定資産の取得による支出	<u>△42,477</u>	<u>△65,999</u>
無形固定資産の取得による支出	<u>△5,307</u>	<u>△12,212</u>
投資有価証券の売却による収入	<u>—</u>	<u>1,210</u>
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	<u>—</u>	<u>26,386</u>
貸付金の回収による収入	<u>833</u>	<u>12,075</u>
差入保証金の差入による支出	<u>△14,653</u>	<u>△1,768</u>
差入保証金の回収による収入	<u>170,539</u>	<u>34,519</u>
その他	<u>62,246</u>	<u>△14,551</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>171,181</u>	<u>△20,339</u>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	120,245	166,502
長期借入れによる収入	490,000	—
長期借入金の返済による支出	△513,516	△356,484
株式の発行による収入	628	—
配当金の支払額	△158	△88
その他	△55,368	△22,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,830	△212,943
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	154,554	△212,912
現金及び現金同等物の期首残高	1,390,655	1,500,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,545,210	1,287,448

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年8月1日 至平成23年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業 (千円)	アフィリエイトサービスプロバイダー事業 (千円)	インターネットメディア事業 (千円)	データセンター事業 (千円)	アパレル事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への売上高	3,965,807	316,417	<u>616,529</u>	<u>385,748</u>	3,161,399	<u>8,445,903</u>	<u>333,269</u>	<u>8,779,172</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,225	834,661	3,442	10,264	—	851,592	—	851,592
計	3,969,033	1,151,079	<u>619,971</u>	<u>396,012</u>	3,161,399	<u>9,297,496</u>	<u>333,269</u>	<u>9,630,765</u>
セグメント利益又は損失 (△)	292,802	87,511	<u>23,551</u>	<u>32,739</u>	△282,452	<u>154,152</u>	<u>△8,580</u>	<u>145,571</u>

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CATV/ISP向け専用線サービス等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	<u>154,152</u>
「その他」の区分利益	<u>△8,580</u>
セグメント間取引消去	△6,174
全社費用 (注)	213,604
四半期連結損益計算書の営業損失	△74,207

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年8月1日 至平成24年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					計 (千円)	その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業 (千円)	アフィリエイトサービスプロバイダ事業 (千円)	インターネットメディア事業 (千円)	データセンター事業 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	4,291,052	815,397	<u>910,269</u>	<u>411,020</u>	<u>6,427,739</u>	<u>206,602</u>	6,634,342	
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,200	822,089	1,309	10,570	835,169	—	835,169	
計	4,292,252	1,637,487	<u>911,578</u>	<u>421,591</u>	<u>7,262,909</u>	<u>206,602</u>	<u>7,469,512</u>	
セグメント利益又は損失(△)	316,670	156,133	<u>18,837</u>	<u>30,131</u>	<u>521,772</u>	<u>△1,105</u>	<u>520,667</u>	

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CATV/ISP向け専用線サービス等を含んでおります。

前連結会計年度において、株式会社リアム（旧ギルドコーポレーション株式会社）を連結の範囲から除いたため、報告セグメントから「アパレル事業」を除外しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	<u>521,772</u>
「その他」の区分利益	<u>△1,105</u>
セグメント間取引消去	517
全社費用 (注)	184,506
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>336,677</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。